



JSS 便り

ジャパニーズソーシャルサービス ニュースレター

秋・冬 2017

JSS 会長より

池田 デービッド

11月4日、JCCCにてボランティア感謝パーティが開かれ、34人が出席しました。長年JSSのボランティアをしてくださっているタク吉田氏と奥様のフミコさんが、ランチを用意してくださいました。フィレミニヨンスステーキを含むランチは絶品で、出席者は皆舌鼓を打ちました。

10月にはスコシアバンク・ウォーターフロント・マラソンでのファンディングが成功裏に終わりました。JSSスタッフ全員、多くの理事の方々、またボランティアとJSSサポーターの皆さんが5キロの歩行、マラソン、そしてハーフマラソンに参加しました。このイベントを企画・運営し、スポンサーを集めてくださった山本順子氏に厚く御礼を申し上げます。山本氏のご尽力とスタッフ、理事、ボランティアの皆さんの奮闘により、今年は前回の8,000ドルを大きく上回る13,000ドルを集めることができました。

年末に向かい、JSSでは多くのイベントを予定しています。毎年恒例のホリデードライブが始まりました。ボランティアの皆さんの御尽力で、様々な教会やコミュニティ団体に寄付箱を設置させていただくことができました。プレゼントを必要と

されているご家庭にお届けできるよう、ボランティアの方々が働いてくださっています。昨年同様、小切手での寄付も歓迎しております。メモ欄に「ホリデードライブ」と明記してくださるよう、お願い申し上げます。クライアントの方々を熟知しているJSSスタッフが、皆さんからのプレゼントを最も必要とされる方にお届けいたします。

最後になりましたが、12月6日午後にゴスペル・チャーチで開かれるクリスマスコンサートにぜひお越しください。コンサートの収益はJSSに寄付されます。JSSスタッフ一同より、皆様が安全な冬を過ごされますようお祈りするとともに、皆様の暖かいご支援に御礼申し上げます。来年もご支援を賜りますようお願いいたします。どうぞ良いお年をお迎えください。

年末恒例の ホリデードライブ

トロント在住のサポートを必要としている日本人や日系カナダ人の皆さんが少しでも楽しく歳末を過ごせるよう、今年もぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

腐らない食品、新品のおもちゃや防寒衣類等を、各地域団体や店舗等に設置しておりますドネーション用の箱に11月10日～12月10日の間にお入れ下さい。

利用者のニーズにより多く答えるため、今年は特に寄付金を歓迎します。ホリデードライブ用と明記し、小切手を直接JSSまでお持ちいただくか、裏面記載のJSS住所迄送付下さい。

**どうぞよい年をお迎え
下さい。**

高齢者虐待 セミナー

JSSはモミジ・ヘルスケア・ソサエティと共に、高齢者虐待についてのセミナーを開催いたしました。1回目のセミナーは10月4日にJCCCにてウィンフォード・シニアクラブと共同で行われ、2回目はモミジ・ヘルスケア・ソサエティでの開催となりました。

このイベントはOntario Seniors' Secretariat(OSS)からの助成金によって実現しました。JCCCでのセミナーには100人以上が参加し、その多くがウィンフォード・シニアクラブのメンバーでした。JSSは長年にわたり、ウィンフォード・シニアクラブが1か月に一度開催するミーティングに和食のランチを提供しています。

今回のセミナーでも、JSS ボランティアによって無料のお弁当が用意されました。日本語の通訳、イベントの広告および企画・運営も全てボランティアの手によるものです。

セミナーでは Elder Abuse Ontario のモニタ・ペルサード氏による基調講演が行われ、マルチメディアを利用し、高齢者虐待とは何か、どのように虐待を発見するか、さらに虐待を予防し、被害者にならないようにするための方法について学びました。

モミジ・ヘルスケア・ソサエティでも同様の公演が開かれ、10月18日、24日の2日間で200人以上の参加者を集めました。モミジ・ヘルスケア・ソサエティでの公演の際は、JSS のフルタイム・カウンセラーである公家孝典氏が一部の出席者に個別カウンセリングを提供しました。

こんにちはプログラム 支援のお礼

公家孝典 (カウンセラー)

この春に刊行したニュースレターの中で、Konnichiwa Program を存続するためのサポートを募るために以下の記事を書かせていただきました。

どのコミュニティもそうですが、GTA の日系コミュニティも急速に高齢化が進んでおり、それに伴い、外出するのが難しくなったり、言葉の壁などで孤立化する高齢者が増えています。

この問題の緩和を目的として、JSS は2004年より「こんにちはプログラム (JSS のシニア訪問プログラム)」を提供していますが、GTA に

おける日系社会の高齢化もあり、ここ数年このプログラムへのニーズはケース数においても希望者の居住エリアにおいても増加・拡大しています。

このプログラムのクライアントの多くは日本語を話す訪問ボランティアを希望しており、「こんにちはプログラム」は、GTA 内でこのニーズに応えられる唯一の訪問プログラムです。また、ここ数年は殆ど日本語を話さない日系2世・3世のシニアのクライアントも増えています。

こんにちはプログラムは、JSS がコミュニティに提供している様々なサポートの中でも最も重要なものの一つです。しかしながら、このプログラムではボランティアが訪問する際の交通費として年間3,000ドルほど必要で、数あるJSSのプログラムの中でも最も費用の掛かるプログラムであるという側面もあります。実のところJSSは寄付金の減少などで財政状況が苦しく、この高齢化している日系コミュニティにとって重要で唯一無二のプログラムを維持していくのが難しい状況にあります。

この記事に掲載して以降、今日(11月16日)まで Save the Konnichiwa キャンペーンを通じてJSSに寄せられた寄付金は4,000ドルを越えました。これにより、今後1年間は確実にこの重要なプログラムを引き続き提供していくことが可能になったという点で、非常に意義深いものとなりました。

JSSの活動にご賛同、ご支援いただいた皆様方に深く感謝いたします。

ありがとうございました。

**JSS のウェブサイトでは
この他にも多くの情報が
掲載されております。**

**<https://jss.ca> と
Facebook (Japanese
Social Services)を
御覧ください。**

**新しいオンライン JSS 便
りも Web から閲覧可能
です。"日本語"をクリッ
クして下さい。**

<https://jss.ca>

JSS ニュース謝辞

編集:

池田 デービッド

制作:

リリフェルト アンソニー

寄稿者:

池田 デービッド、 公家孝典

翻訳者:

世古有佳里、 公家孝典

ボランティアの方々と職員に
感謝します。